

# 学習課題(小学校5年生)

## 【社会】



<学習内容> 「わたしたちの生活と環境」

◆ 「環境を守るわたしたち」教科書⑩124～139 ページの内容について、取組シートやノートにまとめよう。

- (1) 豊かな水資源をもつ京都市の中心部には鴨川かもがわが流れています。地図帳で京都市の位置を確かめよう。
- (2) 教科書 124 ページ①と教科書 125 ページ②をくらべて見て、気付いたことを下の表にまとめてみよう。

①市民のいきいの場となっている鴨川 (2015年)	②昔のよごれた鴨川 (1969年)

- (3) 鴨川がよごれていた原因を教科書 126～127 ページを参考に調べ、下の（ ）の中に当てはまる言葉を書いてみよう。

- ・鴨川が一番よごれていたのは、今から55年ほど前です。  
（①高度 \_\_\_\_\_ 成長）の時代で、（② \_\_\_\_\_ ）の生産が増え、生活の（③ \_\_\_\_\_ ）が向上する反面、多くのよごれた水が川に流れこんで、よごれがひどくなるばかりでした。
- ・1960年ごろから、京都市の（④ \_\_\_\_\_ ）は急げきに増えました。家庭では、テレビ、冷ぞう庫、せんたく機などの（⑤ \_\_\_\_\_ ）をもつようになり、あらい物やせんたくなどには、（⑥合成 \_\_\_\_\_ ）をたくさん使うようになりました。
- ・1950年の後半から1970年代ごろにかけて、産業がはってん発展する一方で、日本全国に（⑦ \_\_\_\_\_ ）**ことば**（教科書P127）が広がり、多くの人々の生活に大きなひがい被害をあたえました。

- (4) 京都市では、よごれた鴨川をきれいにするために、どのような取組が行われたでしょうか。教科書 128～129 ページを参考に調べ、国、市、工場の3つの立場に分けて下の表にまとめよう。

鴨川をきれいにするための取組		
<u>国</u> の取組	<u>市</u> の取組	<u>工場</u> の取組

- (5) 美しさを取りもどした鴨川を守るために、どのような取組が行われていますか。教科書 130～131 ページを参考に調べ、「**市民の願い**」「**条例**」という2つのキーワードを使って書いてみよう。

ことば(教科書P131)

- (6) 日本の工業がさかんになっていく一方で、各地で公害が起き、多くの人が病気に苦しみました。**四大公害病**について、教科書 134～135 ページを参考に調べ、下の表にまとめよう。



公害名	都道府県	原因	症状
水俣病			
イタイイタイ病			
四日市ぜんそく			
新潟水俣病			

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・今回が、5年生の最後の単元となります。教科書では、京都市の鴨川を守るための取組が掲載されています。札幌市の豊平川でも、水質が汚染した過去があり、それを解決するために市や市民が努力をしてきた歴史があります。この学習を通して、きれいな環境が保たれている背景には、様々な立場の人の営みがあることに共感し、自分たちにもできることを選択したり、判断したりするよい機会にしてほしいと思います。